

みずほCustomer Desk Report 2020/01/29号(As of 2020/01/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.90
TKY 9:00AM	108.93	1.1019	120.03	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	109.20	1.1025	120.32	1.3066	0.6764
SYD-NY Low	108.76	1.0998	119.82	1.2976	0.6737
NY 5:00 PM	109.16	1.1022	120.30	1.3027	0.6764
NY DOW	28,722.85	187.05	日本2年債	-0.130	1.00bp
NASDAQ	9,269.68	130.37	日本10年債	-0.040	1.00bp
S&P	3,276.24	32.61	米国2年債	1.4675	2.15bp
日経平均	23,215.71	▲ 127.80	米国5年債	1.4832	3.93bp
TOPIX	1692.28	▲ 10.29	米国10年債	1.6606	4.82bp
シカゴ日経先物	23,360.00	310.00	独10年債	-0.3800	0.75bp
ロンドンFT	7,480.69	68.64	英10年債	0.5500	4.40bp
DAX	13,323.69	118.92	豪10年債	0.9470	▲ 12.50bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	5.23	▲ 0.48%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.35	▲ 0.31%
NY金	1,569.80	▲ 7.60	USDJPY 6M Vol	5.59	▲ 0.45%
WTI	53.48	0.34	USDJPY 1M 25RR	-1.35	Yen Call Over
CRB指数	173.80	0.62	EURJPY 3M Vol	5.92	▲ 0.27%
ドルインデックス	97.98	0.02	EURJPY 6M Vol	6.10	▲ 0.25%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月28日	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	12月 2.4%	0.3%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	12月 -0.1%	0.3%
1月29日	00:00	米 コンファレンスボード・消費者信頼感	1月 131.6	128

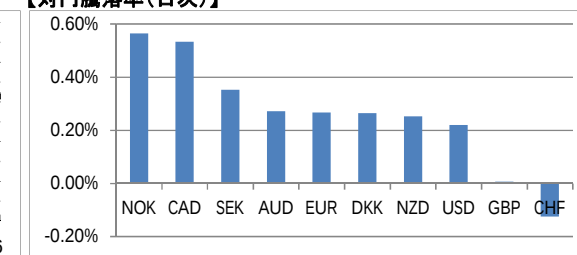
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月29日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	16:00	独 GfK消費者信頼感	2月 9.6	-
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	12月 0.1%	-0.1%
1月30日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	12月 0.5%	1.2%
	04:00	米 FOMC政策金利	- 1.5%-1.75%	1.5%-1.75%
	04:30	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】ハト派寄りとなるリスクを警戒

昨晩より2020年最初のFOMC会合が開催中であり、今晚には全会一致での政策金利据え置きが予想されている。従来であれば年初のFOMC会合では長期政策目標と金融政策戦略が再確認されるが、今年は金融政策戦略の見直しと再検討の最中であることから、結論が年央まで先送りされる事が既に表明されており波乱は少ないか。一方で、史上最高値をつけた米国株式であったものの、新型コロナウイルス騒動に足許は軟調な推移となっており、トランプ大統領が利下げ無しへの不満を表明する可能性は昨年12月対比高まっている。自身の弾劾裁判に追われ、今般の金融政策に口を挟む余地は少ない可能性もあるが、株安対応の利下げ督促の反応が出てくる可能性は想定しておきたい。年初は投票メンバー更新があり、今年はミネアポリス・ダラス・フィラデルフィア・クリーブランド連銀総裁が新たに投票権を持つが、金融政策スタンスが似通った地区連銀総裁の入替えと言われており、政策金利が2020年据え置かれるとのFOMC予想を覆すような大きな変化は少なそうだ。また、今週は30日に英国中銀(BOE)の金融政策委員会の結果が発表される。1月9日のカーニー総裁発言を発端に利下げ観測が高まっているが、市場の織込みは凡そ56%程度といったところで、完全に織り込みきいていない。「経済活動の弱さが続く可能性を示唆する材料が積み上げれば」との利下げの条件を掲げている為、今般は据え置きの可能性もあるが、今会合で見送ったとしても、ブレグジットの問題が解決したわけではない英国では、離脱後の移行期間が延長されない場合には今年末で再び合意なき離脱と同様な状況に陥るリスクが残っており、長い目で見てBOEが利上げよりも利下げに動く可能性は高いものと見ている。BOEの委員は政策決定において、柔軟に対応しているとも言えるが、スタンスとしてタカ派とハト派が急激に入れ替わる事もよく有る事なのでその点も留意しておきたい。感染者数、感染地域共に急激に拡大を続けるコロナウィルスに係るニュースによって、リスクオフ相に株式市場が軟調推移となっている真っ只中で迎える両会合であるだけに、想定よりもハト派寄りとなるリスクを想定しておきたい。(関)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル

ブル	ベア
13	7

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。